

広報



かわにし

平成 5 年 1 / 10 No.413

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢 12 番地 (TEL 0257-68-3111)
FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

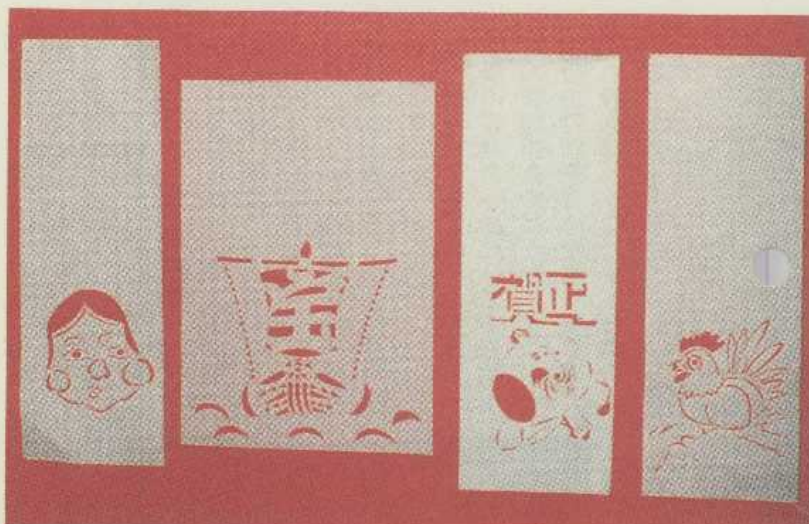
(毎月 10 日発行)

人口の動き	
— 1 月 1 日現在 —	
男	4,383 (+9)
女	4,447 (+9)
計	8,830 (0)
世帯数	2,213 (0)
() は 前 月 比 較	

迎春

切り絵でお正月の
お飾り紙を作る

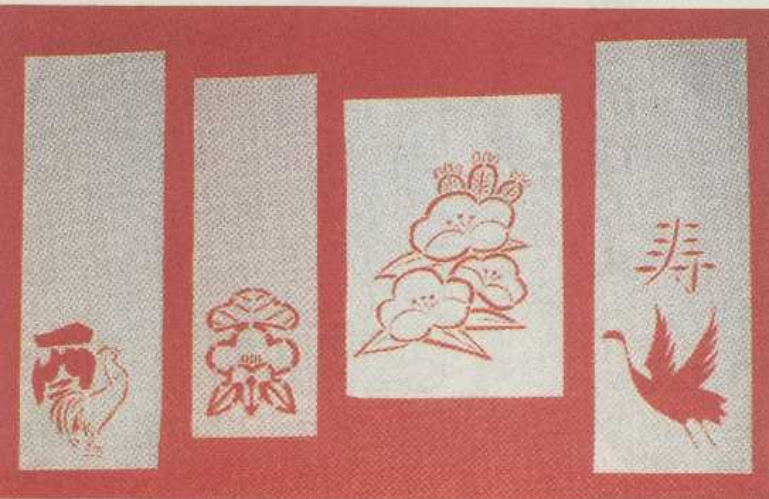
— 12 月 17 日 —



「切り絵でお正月のお飾り紙を作ってみませんか」と、十二月三日、十日、十七日の三回、総合センターで『お飾り紙教室』が開かれました。

この教室には、男女合わせて二十人ほどが参加。宝船、松竹梅、鶴、干支など、切り絵という、ひとあじ工夫したお飾り紙づくりに一生懸命でした。

(表紙の写真は、作品の一部です。)



休日救急医

- 1月15日 富田医院(神明町) ☎ 52-3269
- 17日 中条病院(中条) ☎ 57-3018
- 24日 池田医院(本町西) ☎ 52-2581
- 31日 山口医院(袋町) ☎ 52-2174
- 2月7日 第二藤巻医院(上野) ☎ 68-2018
- 11日 大熊内科医院(山本町) ☎ 52-7066

議会報告

社会教育の充実と体制強化

上村 広治 議員

- ① クロスカントリーコースとサイクリングロードを建設する考え方について
- (1) クロスカントリーコースの必要性と、建設に対する考え方を聞きたい。
- (2) 中子台地にサイクリングロードが作れないか。
- (3) 作るとしたら、この運営管理に対する考え方は。
- ② 生涯学習モデル町としての社会教育の充実と、行政の体制強化をどう考えるか

南 雲 町長

- ① (1) 生涯スポーツの振興を進めるための体育施設として必要であり、第四次総合開発計画の中で整備する計画をしている。

十二月十五日から二十二日まで、八日間の会期で第八回町議会定例会が開かれました。
十五日は、六人の議員による一般質問と「義務教育費国庫負担制度の現行制度の維持に関する請願」のほか一件の請願が、所管の常任委員会に付託されました。

十八日は、平成三年度の一般会計と、七つの特別会計決算が認定されました。
二十二日は、十五日に付託された請願二件を採択し、町職員の給与に関する条例ほか五件の条例と、平成四年度一般会計補

設置場所については、中子台地が望ましいと思っており、今後、具体的な調査・研究を進め、前向きに検討を加えてまいりたい。

- (2) ふるさと広場の関連施設として位置付け、パターゴルフ場などの来場者から利用していただくといった考え方が望ましい。クロスカントリーの調査・研究に合わせ、軽食のとれるレストラン的な施設の要望も多くあるので、そういう施設を含め、早急に調査・研究をしてまいりたい。
- (3) 管理については、ふるさと広場の管理をいただいている元町の管理組合でどうか、また、施設の管理を含めた第三セクターの設立はどうなのか、といった面での対応も研究したい。

② 生涯学習社会に対応した広範な社会教育推進のためには、「人づくり」が大事である。学級・講座など、事業を見直した中で指導者の育成や自主的活動を助長し、学習活動の充実と質的転換を図ることが基本である。このような考え方にに基づき、社

正予算ほか七件の補正予算を原案可決しました。
さらに、上水道第三期拡張工事請負契約を原案可決し、「第四次土地改良長期計画の策定に関する意見書」ほか三件の意見書を原案とおり可決しました。
なお、今回の議会で、町議会

議員の定数を減少する条例の一部が改正され、議員定数を二人減少（改正後定数十八人）し、来年八月に執行予定の一般選挙から適用することになりました。十五日に実施された一般質問の概要を中心にお知らせします。（質問順に掲載）

気になる西山開発のゆくえ

平野 正義 議員

会教育主事をはじめ、専門職員
の充実や資質向上に努め、社会

教育の推進体制の整備・充実を
図ってまいりたい。

西山開発は、土地取得事前協議書に対する県の承認があったにもかかわらず、具体的な計画の進展が表われていない。この開発計画中断の心配や、養豚団地の移転対策及び第三セクター構想に対する今後の見直しと町は考え方を

地権者との条件交渉に入り、「土地取り引きの届出」の提出準備が具体的に進められる段階を迎えている。

南 雲 町長

昨年五月、起業者側から「土地取得事前協議書」が町を経由して提出され、庚塚野球場から養豚団地にかけての部分をつなげた開発計画で、去る八月十一日付けで県から了承された。これを受けて起業者側では、今後、

当初は八月に準備会などを組織化し、早ければ年内にでも会社設立をしたい予定であった。しかし、日本経済の急激な後退や、ゴルフ場会員権の事前販売禁止などから、開発について大変厳しい状況を作っている。



去年の生涯学習推進大会で
奨励員の紹介

(4・23 総合センター)

また、養豚団地移転が、現在、町が取り組みをしている都市計画事業の促進を図る上でも重要な課題であり、起業家から誠意ある対応を求めてまいりたいと思っている。

今後の見直しについては、起業家では「川西町の開発はどうしてもやりぬく」という強い決意であり、急には状況の好転が望めないにしても、希望を失うことなく期待しているところである。

どう生かす白倉運動広場

金子 澄男 議員

白倉運動広場と白倉地区の活



さらに良い状況に整備するための工事を進められました



起業家側から議員らが開発の説明を受ける(3・1・30活性化センター)

- 性化について
- (1) 来年度以降の利用計画は。
 - (2) 白倉小学校を核にして、高校・大学などの合宿に使用する考えはないか。
 - (3) 広場を利用して、地元との交流や地域活性化が図れないか。

南 雲 町長

- (1) 地域のみなさん方から野球をはじめとする各種のスポーツ、地区の運動会など大いに利用していたかどうかというのが基本的な考え方である。

また、町単位で開催するスポーツ行事などについても、町体育協会などと、その利用方法に

- についても検討を加えてみたい。
- (2) 補助金が投入された施設であるので、校舎を合宿に使用することはできない。
 - (3) 地域のみなさん方から大いに利用していただくことを基本とした中で、総合的に検討を加えてみたい。

町奨学金制度の拡充を図れ

戸田 哲次 議員

- ① 教育費の負担軽減と奨学金貸与制度について
- (1) 町奨学金貸与条例における奨学金の月額を引き上げる考えはないか。

- (2) 大学などの進学時、初年度の納付金などに対する貸与条

- ② 中学校での偏差値を重視した進路指導を改善するため、これに代わる進路指導のあり方を文部省でも打ち出したいとしている。町の態度と今後の取り組みはいかに

南 雲 町長

- ① (1) 近隣市町村の奨学金の額をもとに、今後、月額の引き上げを検討していきたい。

福祉の町づくりに向けて

押木 貢 議員

「福祉に優しい川西町」への

- 取り組みについて
- (1) ボランティア活動への支援強化、啓蒙活動の推進をどう

今後の取り組みについて、教育委員会の考えとしてまだ、まとまっていけない。基本的な態度、姿勢としての考えで申し上げてみると、高校への偏差値提供について、公・私立を問わず、資料の提供は厳しく慎むべきである。

次に、業者テストがなくても、校内の資料の積み重ねによって進路指導の可能な体制づくりを求めてゆきたい。ただし、同一

取り組みか。

- (2) 介護用品、用具の給付や貸与が円滑にできる整備をしてほしい。
- (3) 福祉ハウスのモデルづくり



川西高校の合格発表を見に訪れる人たち(4・3・17)

学区で、同一条件のもとで実施された学力テストがないと、進路指導がなかなか難しいという現実から、公的な機関で問題を作成し、分析資料などをまとめて各中学校に提供する、そんなシステムが整備されるなら望ましい。

いずれにしても、文部省の最終報告が、一歩踏み込んだ改善策の打ち出されることを期待したい。

と、住宅改善に援助ができないか。

- (4) 支え合う、互いに生きる、心の教育の推進をどう図るか。
- (5) 老人の生きがいづくり事業への取り組みは。

南 雲 町長

(1) 住民のボランティア活動に対する意識は年々高まり、町内においても数多くのグループ、個人による活動が進められている。誠に喜ばしい限りである。申し上げるまでもなく、ボランティア活動は、強要できるものではなく、ボランティア活動に参加しようとする個人の自覚の問題である。ことあるごとに



多くの人が受講した介護教室
(4・11・19総合センター)

ボランティア活動の必要性と、重要性を強く訴えてまいりたい。

(2) 特殊寝台、マットレス、車いす、ポータブル便器、オムツなど、寝たきり状態にある方が、日常生活において必要なほとんどの用品について、対応できる制度があり、たいがいのケースには応じられる状態にある。対象世帯からの、早めの相談を待ちしているところである。

(3) 町では、本年度から町単独事業として、身体に不自由を持つ方の生活の用に供するための施設の改装などに要する経費で、金融機関からの借入金に対する利子の全額補給や、同趣旨の既借入金に対する本年四月以降の全額利子補給を実施している。当面は、現行規程の中において、有効な活用が図られることを期待している。

(4) 高齢者や障害者の方々が、

一歩文化行政の推進を

田口直人 議員

① これからの公共施設の整備に当たっては、文化的デザイン費を建設費に上乘せし、ソフトで潤いのある美観を作り上げてはどうか

② 完全週休二日制への考え方と

困っている問題・悩んでいる問題は、健康者にとっては「明日はわが身の問題」として真剣に取り組まなければならない。学校教育、生涯学習を通じ、若者に対し、思いやりのある心の育成に努めていかなければならないと思う。

また、生涯学習推進モデル町の指定を受けており、その計画の中でも「人づくり」を柱として位置付けており、積極的に推進を図ってまいりたい。

(5) 人間は、とかく目的を失うと、急にふけ込むものと言われている。何らかの形において社会参加することこそ生きがいであり、健康な心身を維持する根源と思う。老人クラブ活動や社会教育における学級など、各種事業に参加いただき、気力、体力の増強に心掛けていただきたいと願うものである。

移行について

(1) 地域企業の労働時間や労働報酬との差異の実態と、町職員に対する住民意識をどうとらえているか。

(2) 移行した場合、住民サービスの低下をどのような形で向上させるのか。

③ 従来の県単は場整備事業などの諸条件にとらわれない、簡単な場整備を町単独で実施できないか

南 雲 町長

① 町では、農道幹線のフラワールードをはじめ、妻有大橋の文化的デザイン及び法面やコンクリート擁壁の壁画など、車と人にやさしい事業推進をしてきた。また、国・県事業においても、

地域社会や利用者にもマッチした文化的空間の創造をしておるところであり、特にトンネルやスノーセッ入り口空間の側面を利用し、町のPRを兼ねた花や鳥のデザインをして、利用者にやすらぎ、潤いを与える計画も進行している。

今後も公共施設空間をより一層活用し、文化的表現はもとより、「ゆとり、快適、美しさ」など、質的ニーズこたえた事業推進を図ってまいりたい。

② (1) 地域企業の労働時間・労働報酬については、町職員の水準にはおよんでいないという実感が認識している。しかし、週休二日制は、時代の要請であり、若者の定住、豊かさを実感できる生活環境や地域環境づくりのためにも、多少の無理があっても実施に踏み切る必要がある

と思う。当町のような山村では、公務員先行ということで労働環境の改善を役場自らがしていく姿勢が必要ではないかと考えている。

町では、実現可能な部門で平成五年四月一日から実施したいと考えており、それまでに住民サービスの低下を防ぐ各職域ごとの具体的な取り組みを検討し、住民各位へのPR、理解とご協力を求めていきたい。

③ 住民が、積極的に応じてくれるかどうかということも大変気になるところであり、アンケートをやって、事情を聞かせていただいてから対応したい。



町道山野田下平線法面の造形文字

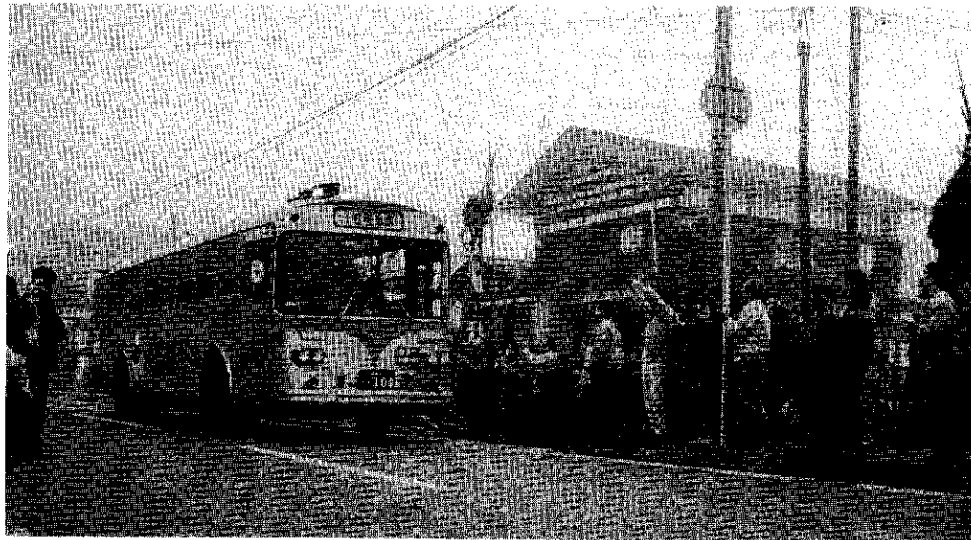
町勢要覧

切手210円でお送りします

すでに、町内全世帯にはお配りしたとおり、写真を主体とした平成四年版町勢覧ができました。町外のみなさんでご希望の方は、左の送料(切手)を同封のうえ、お申し込み下さい。

また、町内でさらにご希望の方は、役場へお越しくださいばいつでもお上げします。

一部 二二〇円
二、三部 二六〇円
三、五部 三一〇円



第1便を喜びで送り出す地域の人たち

代替バスの導入で地域の足が確保される

乗り合いバスによる人員輸送は、昭和四十年代中ごろからマイカーの普及や交通手段の多様化によって、四十四年を最高に、大幅な減少をしてきました。

十日町・仙田・室島線についても利用人員の減少に加え、大きな赤字を抱える路線として、廃止という事態も心配されていきました。しかし、大衆の足として路線バスの運行を維持するため、国・県及び町が支援し、代替バスを運行することで、関係団体の協議が整いました。

この代替輸送では、新規に赤谷・岩瀬まで運行されることになり、十二月一日、その出発式を岩瀬集落センター前で実施。町・バス会社・地域住民ら関係者百人ほどが見守るなか、第一便が無事出発していきました。

夏場の練習の成果を試す 第1回ローラースキー大会



上り坂で懸命にローラースキーを滑らせる児童

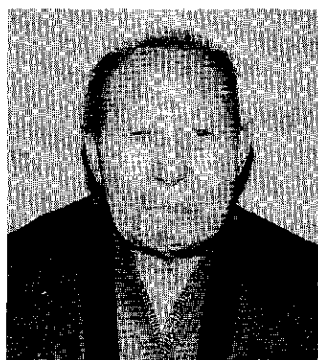
昨年、町ではクロスカントリースキーの基礎技術と競技力の向上のため、ローラースキー教室を開催しています。

ことしも、八月から始まった教室が十一月の終了を迎えるにあたり、教室参加者に一生懸命頑張ってきた成果を発揮する場を与えようと、去る十一月二十八日、町道羽黒市ノ越線などを利用して、「第1回町ローラースキー大会」が開かれました。

大会の結果は次のとおりです。

- 小学生女子の部(一五キロ)
- 一位 保坂優海(千手小)
 - 二位 小林由子(仙田小)
 - 三位 小林 優(同)
- 小学生男子の部(二〇キロ)
- 一位 高橋 新(仙田小)
 - 二位 斎藤 保(千手小)
 - 三位 平沢克広(同)
- 中学生男子の部(二五キロ)
- 一位 高橋伸一
 - 二位 片桐健太
 - 三位 片桐康太

とり 酉 松 リレー



平成五年は酉年です。時を告げる酉の舌で快く目覚めがで
きるよう、毎日を健康で元気に過ごしていきたいと思います。
恒例となりました、町長と議会議員から、町民あてに新年の
ご挨拶をいただきました。合わせて、町では八代の酉年生ま
れの方々が六二六八おられます。全町民のおよそ七・一パーセ
ントにあたります。
輝かしい新春にあたり、酉年生まれで、一月一日生まれが、
その年の一番長い日に生まれた方を紹介します。

村山庄八さん（高原田）
明治30年1月23日生（96歳）
健康のために、朝六時半には
起きて、二度の食事をきちんと
家族と同じ時間にとるよう心掛
けています。百歳まで生きたい
と頑張っています。



正足直行

平成五年元旦

川西町長南雲春雄

※意味 正しい足どりで真っすぐ行こう



高橋セツさん（仁田）
昭和8年1月1日生（60歳）
家族が健康で、ここまでこれ
たことに感謝をしています。こ
しも健康を第一に、明るく・暖
かい家庭づくりに努めたいと思
っています。



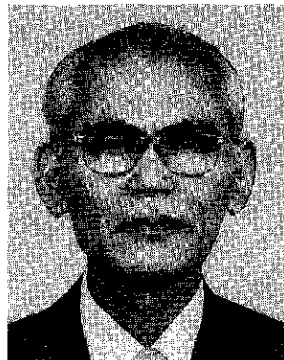
馬場マツエさん（学校町）
大正10年1月1日生（72歳）
去年は大きなケガなどもなく、
健康で過ごせることをありがた
く思っています。今年こそは、
息子によい嫁さんが授かるよう
願っています。



小林タマ子さん（中仙田）
昭和8年1月1日生（60歳）
ことしこそは、娘に婿さんが
見つかったもらいたいと願って
います。還暦になったので、お
父さんとゆつくり旅行でもした
いと思います。



羽鳥ハルさん（伊友）
大正10年1月1日生（72歳）
去年四月にひい孫が生まれ、
とても喜んでいました。野菜づく
りやゲートボールなどの楽しみ
のほかに、また一つ、ひい孫と
遊べる楽しみもできました。



頌春

平成五年元旦

川西町議会議長

小林寅雄

はる さん 申 から



蔵品セキさん(霜条)

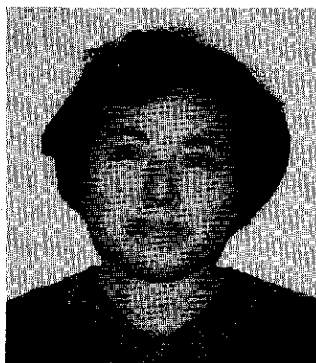
明治42年1月10日生(84歳)

土いじりが好きで、畑に果樹を植へ庭にシヨウブをと、限らない土への執着を感じています。春のボカボカ陽気が待たれてなりません。

春日敏夫さん(神社町)

昭和20年1月1日生(48歳)

去年は息子の成人式、次男の高校入学、三十三回忌法要など、恵まれた、多忙な年でした。ことしては当たり年、何ごとも一生懸命頑張りたいと思います。



市川チエさん(中島町)

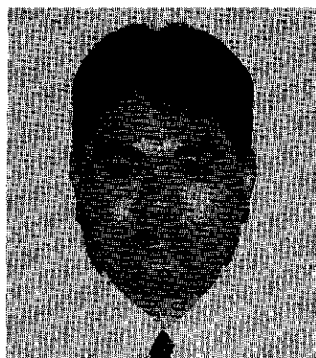
昭和20年1月1日生(48歳)

去年、町内会で大人用の「おみこし」を作り、参加しました。みんなの気持ちが一つになれて、うれしいことでした。ことしも健康でありたいと願っています。

小林久子さん(木島町)

昭和32年1月2日生(36歳)

お客様が見て感激、食べて満足していただけるようなお店づくり……、それが目標です。そのためには、いろいろな料理に挑戦してみたいと思っています。



高橋正樹さん(田戸)

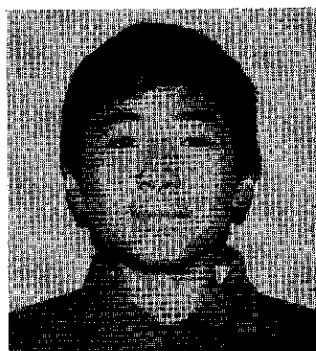
昭和44年1月20日生(24歳)

ことは、更に飛躍できる年にしたいと思っています。そんな意味でも、年老いても仲むつまじく暮せるような人と、将来の約束ができれば最高ですネ。

登坂大悟さん(岩瀬)

昭和56年1月2日生(12歳)

運動が苦手なので、いま体力をつけるため、スキージの練習に励んでいます。中学では、バスケットボール部に入れたらいいなと思っています。



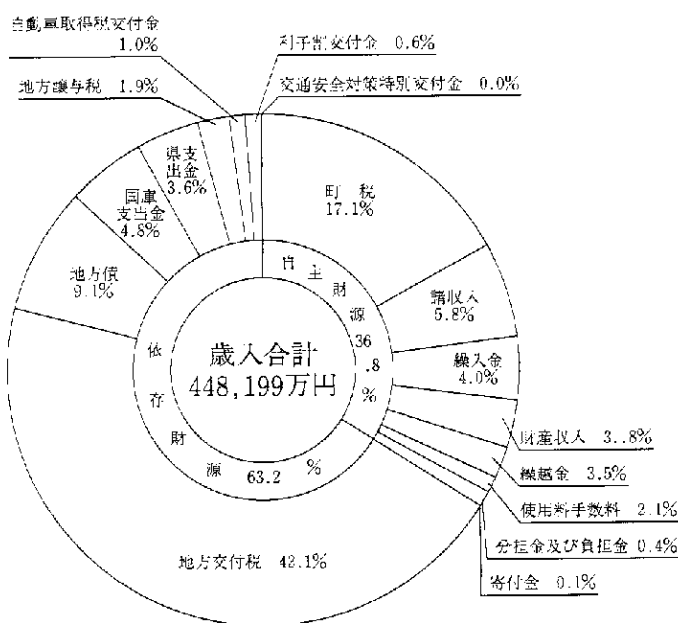
3年度 決算

平成三年度の決算が、十二月の議会で認定されました。この決算は、平成三年四月一日から平成四年三月三十一日までの収支をまとめたものです。一般会計の概要をお知らせします。

歳入は、四四億八、一九九万円、歳出は四二億五、六五六万円で、二年度決算に比べて、歳入では四・五％、歳出では二・八％増加しました。

歳入は、町税、分担金、負担金、使用料、手数料など、町が自らの手で徴収することのできる「自主財源」と、国県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方債のように、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

歳入



町の歳入構造は、依存財源の割合が高いが、三年度決算でも六三・二％となつています。これは、二年度と比べて三・三ポイント減少しています。固定資産税が二・七ポイント増えたことなどが影響しています。

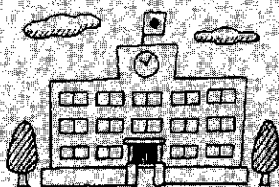
歳入の主な建設事業としては、ふるさと広場整備工事、千手小学校大規模改造工事、川西中学校グラウンド改修工事、小型除雪機導入

事業、休養休憩施設（バンガロー）建設、流雪溝・消パイ工事、町道の改良舗装工事などがあります。

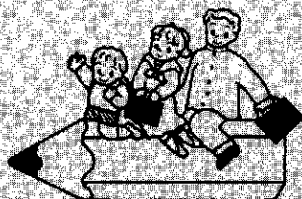
また、行政事務を進めるための経常的な経費のほか、町民の健康審査や各種検診などの充実、高齢者など各種福祉対策への対応、生涯学習への取り組み、農業振興策など、目に見えないところにも、みなさんの大切なお金が使われていること、見逃せない重要なことです。

総額42億5,656万円はこのような使われました

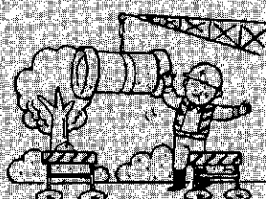
公債費 9.8%
4億1,817万円



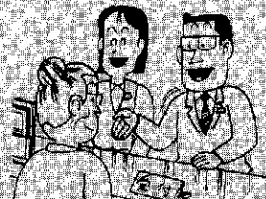
教育費 14.8%
6億3,001万円



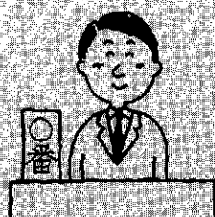
土木費 18.4%
7億8,438万円



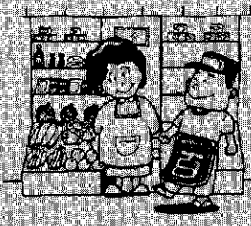
総務費 21.9%
9億3,312万円



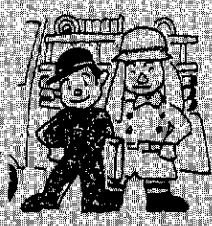
議会費 1.8%
7,457万円



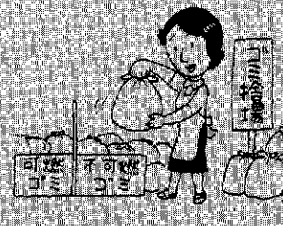
商工費 2.7%
1億1,343万円



消防費 3.4%
1億4,578万円



衛生費 6.8%
2億8,942万円



特別会計決算

国民健康保険	歳入	5億6,419万4千円
	歳出	5億3,153万3千円
国民健康保険診療所	歳入	2億 558万 円
	歳出	1億9,756万3千円
仙田へき地出張診療所	歳入	3,093万1千円
	歳出	2,917万9千円
老人保健	歳入	6億2,817万1千円
	歳出	6億2,803万3千円
地域休養施設	歳入	1億2,961万6千円
	歳出	1億2,024万7千円
簡易水道事業	歳入	7,194万7千円
	歳出	5,119万4千円
農村集落排水事業	歳入	4億2,024万5千円
	歳出	4億1,796万3千円



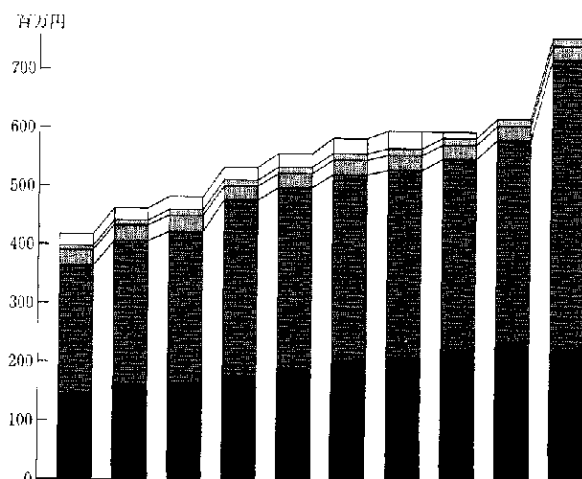
新入学児童の健康診断(3.11.20千手小)

ナカゴグリーンパーク
オープン(3・7・21)



過去10か年の町税収入の推移

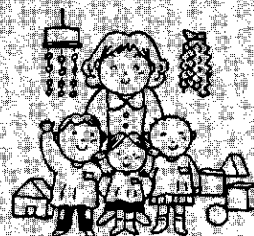
町民税 固定資産税 たばこ税 軽自動車税 その他



項目	年度	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3
町民税		245	161	162	175	186	201	210	221	232	223
固定資産税		215	245	260	302	313	321	320	329	351	498
たばこ税		27	27	28	24	24	25	26	24	24	24
軽自動車税		7	8	10	10	11	11	11	12	12	12
その他		20	21	22	22	23	26	30	10	0	1

目的別歳出の内訳

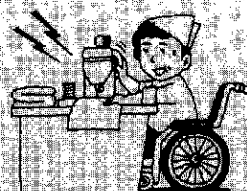
民生費 9.2%
3億9,101万円



農林水産業費 9.2%
3億9,189万円



労働費 0.2%
1,023万円



災害復旧費 1.8%
7,455万円



仙田村の学校問題⑥

岩瀬 金子 幸 作

村会議員の二級選挙

大正十年五月十五日発行の十日町新聞は、「仙田村議選、競争激甚なり」と題して次のように報じている。

左なきだに近來の選挙は何地も競争激しき中を、殊に本郡仙田村に於ては学校問題に就て村内を挙げて紛擾を醸しつつある今日なれば、決して穏やかには済ましくと予想せらるる折柄、夫々関係者又は野心家は日の迫ると共に互いに面策する処ありて各其の地盤を定めありしが、愈々去る十日を以て二級選挙は施行され、或は刈出しに又は勧誘に運動者の奔走目覚ましく、又中には自己の立場上棄権運動をも行はるる等該村にかつて見ざる賑わひを呈したり、而して此の有権者六百九十七名の処投票者五百六十五名にして開票の結果下の如く、遂に一名の落選者を出したり。

六七票 半田仙太郎 室 島
六五票 青木善次郎 田 戸
六一票 江口熊三郎 小白倉

五七票 南雲 保治 中仙田
五六票 中村 増蔵 岩瀬
五五票 高橋虎太郎 高倉
四八票 小川己代治 大貝
四七票 登坂九十二 赤谷
四六票 茂野好太郎 藤沢
次点三八票 桑原〇〇桐山

一級選挙の当選者

引き続き翌十一日には一級選挙挙行されたが、前日競争の結果を候補者が一名の過剰をなしたる為め之れ亦相当の暗闘を演じ、此の有権者九十五名の中投票者九十二にして其の結果次の如く、是にも一名の落選を見るに至れり、以て其の如何に激しかりしかを想察さる。

一二票 小林 誠治 中仙田
一〇票 田中 勝平 小白倉
一〇票 高野 攻考 室 島
九票 桐生 門平 大白倉
九票 高橋佐平治 高倉
九票 川崎 忠蔵 越ヶ沢
九票 登坂 為吉 岩瀬
九票 登坂 由松 赤谷
七票 中條 鶴松 大倉
次点六票 市川〇〇 霧谷

地主層が村政を主導

明治二十二年から大正十年までの村会議員選挙は、当該市町村に二年以上在住する帝国臣民の男子で地租を納める者、または直接国税二円以上納める以上者にだけ選挙権があたえられていた。自分の土地を持たない小作人は選挙することができず、この年、仙田村で選挙権の無かつた世帯は百五十戸を数えていた。仙田村に住んでいなくても、多額の村税を納めている不在地主は投票することができた。

この時代の市町村制は、自治体の盛衰利害が無智無産の公民に左右されないために、市町村

の行政を地主主導的な構成で運営することがねらいであった。

村会議員と名誉職

村会議員の選挙には一級と二級の等級制がとられている。村税納入額の多い者を上位から計算して、村税総額の半分に達するまでの納税者を一級とし、残り半分を納める下位の納税者を二級として、各納税者が議員の半数づつを選挙する制度になっていた。したがって、一級議員は少数の富裕者が選ぶ結果になり、もしも、その村に村税の半分を納める大地主がいたとすれば、その者は村会議員の半数を一人で選べたことになる。

そのうえ、二級選挙を先にに行ない、その翌日に一級選挙が行われる制度であったから、富裕者の当選させたい候補者が落選しても翌日の選挙で当選させることが可能で、文字どおり「細民ノ多数ニ制セラレル」の幣を防ぐしくみになっていた。

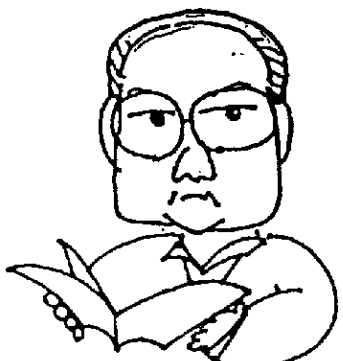
村長、助役らの村吏員と、学務委員等の村委員は村会議員の投票で選ばれた。これらの役は無給を原則とした名誉職であったため、一定の資産があり、時間的にも余裕のある村の地主衆や有識者が起用された。

(参考文献)

大島美津子「明治のむらこ

仙田の大騒動を解明

(筆者のイラスト
有放の田中紀子さん描)



おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

本稿は赤谷の高橋家(茶屋)文書を中心にとまとめています。ご当主であられた高橋源治郎元川西農業改良普及所長(故人)が、離村されるときに「役立ててもらえるなら」と提案してくださった貴重な資料です。

平野正義町議会議員に「仙田村の学校問題をくわしく知りたい」と言われて、筆を執ったのが去年の夏の盛りでした。調べているうちに県下で最大の騒動

であったことがわかり、その全容をご紹介しますのにことしいっぱいはかりそうです。

たとえば「部落」など、昔の文書引用するときは原本にしたがっていますが、現在では使うことに問題があつて「集落」と書き換えています。

上野村、橋村などの旧町村を指すときは「村」を、上野、寺尾など現行の大字や行政区を指す場合には「ムラ」を用いています。印刷のミス等で助詞、動詞や漢字がまちがっていたりしますがご判読ください。

老いも若きも参加して 町内会でクリスマス

みんなでプレゼント交換



十二月二十六日、山野田農事集会所で、「みんながサ
ンタになれる夜'92 グッドクリスマスイン 中島町」
と銘打った、中島町町内会のクリスマスが開かれました。
これは、町内会の活性化を図るべく、みこしづくりに次
ぐ第二段目の企画で、町内会でこぞってクリスマスをす
るの、川西町内でも初めての事です。
当日は、老若男女七十人ほどが参加。先般、国土庁長
官賞を受賞した星奈緒子さん(千手小6年)の「楽しい
川西町」の作文発表や、町内会の新婚さんを紹介するコ
ーナー、町内会社交ダンスチームによる手作り衣装での
仮面舞踏会など、面白い企画も盛り込まれていました。
このほか、小学生を対象としたゲームや、集まった
人全員がプレゼント交換などをして、楽しいひとときを
過ごしました。
会場設営や料理、接待など、裏方に努めてくれた方々、
大変ご苦労様でした。

あせり、モタモタ。でも、 楽しかった英会話教室

ティパーティーで
覚えての英語で懇談する参加者



九月四日から十一月二十七日までの毎週金曜日、川
西中学校の英語の先生を講師に「初級英会話教室」が
開かれ、男女合わせて十二人が参加しました。
参加者の一人は、「教室では、いつもだれかに英語
で話しかけなければならぬということもあって、あ
せたり、モタモタしたり、手引きから離れると、お
手挙げの状態になって、右往左往しているうちに時間
が過ぎてしまうので、あつというまの三カ月でした。」
と感想を話してくれました。
また、教室では、開講の当初から最終的には一度、
外国人と英語を話してみようという計画があり、十二
月二日、町内に住んでいる外国人一人と、十日町・川
西・六日町女子高校で、英語の教師にアドバイスをし
ているクリスティーさん(女性)を招いてティパーティー
を開きました。参加者は、覚えての英語を一生懸
命使って話をしていました。

自治防犯協議会が 町内を歳末パトロール

チラシを配布して防犯を呼びかけます



昭和四十年ごろから、各地域で防犯活動を推進する中
心として防犯連絡所が設置され、活動をしてきました。
しかし、社会構造の急激な変化は犯罪、少年非行、風俗
環境など、いろいろの分野で不安をおよぼしており、こ
れまでの制度では対応しきれなくなりました。
また、これまでの防犯連絡所は、横の連絡組織がなか
ったため、他の防犯連絡所との情報交換や、共同しての
活動がでにくくなっていました。
このため、町でも、六月から十一月にかけて、旧町村
単位ごとに、地区防犯連絡協議会の設立をして、より一
層犯罪や事故のない、安全で明るく住みよい地域づくり
を推進することになりました。
十二月十六日、千手地区防犯連絡協議会(小林健三会
長)では、年末・年始防犯運動期間にちなみ、犯罪防止
のチラシ配布、駐車場の車の施錠確認や、自転車・バイ
クの放置など、歳末パトロールを実施しました。

〔敬称略〕

一般大人向けが中心です。

・それぞれの分館が開館している時は、いつでも利用できます。

上野コミュニティセンター・
橋高齡者コミュニティセンター・
仙田克雪センター内に、新たに
各二百冊余りずつ図書を配置し
ました。今までも、橋と仙田の
センター内には図書があり、更
に図書数が充実しました。

図書の内容は、県立図書館、町役場職員組合の寄贈図書、町民から寄贈された文庫本で、

- ・ 一回の貸し出し冊数は、特に制限はありません。
- ・ 貸し出し期間は、原則として二週間となっています。
- ・ 特別に係の人はいませのでみなさんの自覚ある利用をお願いします。

※今後、定期的に蔵書内容を入れ替えていく予定です。

三夫勉義勉夫生誠ツ雄志男平一勇夫雄平
倉和信春春リ久敏出良敬秀富米

高橋中蔵
高橋品辺
高橋村谷
高橋上長
高橋田水
高橋小藤
高橋藤須
高橋丸山
高橋丸山
高橋藤藤

友田山条吉野町領岸崎辛田口歩田深原

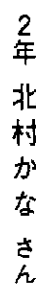
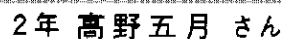
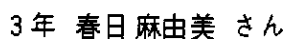
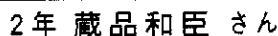
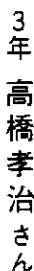
伊高坪霜鶴上上野元三小寺塩仁野四原根下

雄勝則男春進子雄志隆義史作也夫之夫勝夫
和義春千憲達清忠宏達鉄幸敏敏次

島橋田中山辺藤野上鳥橋木田林水岸坂
中高増佐田丸渡佐平清野羽高齊広小清水山保

町田
西
東
卜
町住宅
町兼寺
町町
町町
町敷
尾
島
立

中山電發電鐵道
米山野朝四東上中田神學中寺木沖



ちいさな展覧会

川西中学校

善

意

(敬称略)

社会福祉に

南雲 信雄 (中屋敷) 3万円
小川 昊栄 (岩瀬) 5万円

新診療所が
1月16日
オープン
新診療所が完成し、1月16日
(土)から業務を開始します。

Uターン登録をしませんか
ハローワーク十日町職安では、
新規卒者の地元就職の促進と、
地元出身者の県外在住者のUター
ン就職に力を注いでいます。
町でも「Uターン情報コーナ
ー」を設置して、Uターン登録
の手伝いをしています。
登録を希望する方には、安定
所から地元の希望する求人情報

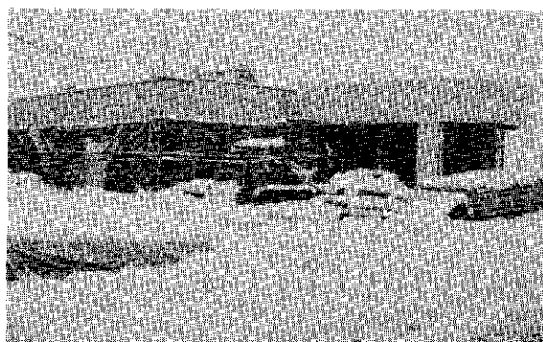
問い合わせ先
ハローワーク十日町職安
☎五七二四〇七
役場商工観工係
☎六八一三二二



通る人に防火を呼びかける園児

防火の宣伝にひと役

十二月二十二日、役場前
の沿道で、年末・年始消防
特別警戒の一環として、川
西幼稚園児四十二人による
街頭宣伝が実施されました。
園児たちは「防火」と入
った半てんを着て、通る人
たちに「火の用心をお願い
します」とチラシを配りな
がら、火災予防を呼びかけ
ていました。私たちも、火
の用心には十分気をつけた
いものです。



完成を目指して工事の進む老人デイサービスセンター

平成5年2月末完成予定

老人デイサービスセンターの名称募集

締め切り 1月25日 (当日消印有効)

現在、高齢者福祉施設整備と
して、老人デイサービスセンタ
ーの建設が、二月末の完成を目
指して、高原田地内で進められ
ています。

■締め切り■

1月25日 (当日消印有効)

■賞品■

採用一点。佳作若干。

■発表■

本紙に発表。本人にも通知し
ます。

※デイサービスの内容

デイサービスは、日中、在宅
の虚弱老人や寝たきり老人など
を送迎バスなどにより、老人デ

※建物の概要

構造 鉄骨平屋建て
床面積 四六八・二五平方メ
ートル

平成5年度 農業標準賃金

男子 6,700円
女子 6,300円
(1日あたり)

農業委員会では、今年4月1日
から適用の農業標準賃金を決めま
した。

これはあくまでも標準賃金です。
作業の内容などにより、頼む人、
頼まれる人がお互いに納得のう
えで、対応してください。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

羽鳥心之介 宏史 二男中央町

渡辺 秀信 昭二 長男上野

高橋 直哉 数昭 長男仁田

高橋 諒丞 勉 長男霜条

相崎 郁哉 浩二 二男沖立

柳 健太 篤 長男下平新田

須藤 智美 和男 長女仁田

たかさご—二田満に

押木 郁夫 田戸

宮入 真由美 小千谷市から

渋谷 雅裕 山野田

裾沢 宏子 十日町市から

新年俳壇



《特選》

初明り・買初・新年雑詠

太田白南風選

雪山のまろまろとあり初明り

高倉 斎木 和人

空が白みはじめて元旦の朝が明ける。次第に東の空の光が増し、明け初むる美しいトキ色となって広がる。その下の山々がまろまろと雪山となつて連なり清新な元旦の朝が展けていく。いろんな理屈を言わないで素直に自然を大きく描写したのが佳い。

《推選》

雪の磴ほのぼのとして初明り

岩瀬 小川 益栄

天地の定かとなりて初明り

上町 田辺 涼雨

万両も差しメ飾り出来上り

野口 村越 由喜

岸辺より鳥飛び立ちて初明り

足立区 涌井ハル子

平凡のくらし大事に年初め

上野 星名 春子

和田 啓介 六日町から

佐藤 由美 小脇

数藤 正徳 沖立

石塚 祐子 新潟市から

昇天—ごめい福を祈る

小林 ツネ 66 (正) 中屋敷

星名 シノ 80 (玉平) 上野

清水 キセ 81 (雄) 下平新田

高橋 サダ 88 (保夫) 三領

富井 ハル 89 (昭平) 上野

小川 駒治 98 (良一) 岩瀬

《入選》

掃初の一部屋を大きく開けにけり

野口 野沢 寅生

初御空越後三山かがやけり

練馬区 須藤 遊人

初苗切絵の如き山の影

志木市 山田十久二

恙なく年を重ねて初もうで

上野 渡辺 朝

初詣で狭き社の人続く

仁田 戸田 貞子

一条の陽射おごそか初明り

中仙田 高野仙蒼子

サボテンの花よく咲きて今朝の春

綾瀬市 野沢ますえ

大礫の黒くろとして初明り

上野 内山 寛平

七十の坂を迎へぬ年新た

伊勢原市 金子 桂吉

初明り八海の峰うきぼりに

山野田 藤田ひろし

漁火の二つ三つあり初明り

上町 高橋 願似

八海の山明らかに初明り

霜条 星名 星光

銀色の峰まろやかに初明り

岩瀬 登坂伊智子

銀嶺を染めおごそかに初明り

小白倉 江口みゆき

こんもりと立つ大礫初明り

八王子市 田中 ひさ

白雪の越後連山初苗

野口 野沢 静江

六畳のくらしの一間初明り

足立区 駒形 頼太

買初めの色良きマフラの余生かな

八王子市 松浦 サク

花生けて掛軸替へて年迎ふ

野口 村越 春野

巾広く踏まれし道を初詣

下平新田 清水きよし

輪飾りに雪のひとひらかりおり

仁田 小幡しん女

ひたすらに平和祈りて初詣

浦和市 登坂 博史

大きな廊下一枚初詣

元町 金子 鉄平

九紫吾磨めくりて年迎う

原田 根津とき子

老杉のすき間に洩るる初明り

岩瀬 金子 美季

実南天活けて床の間富士の軸

上野 入沢 はや

位牌座は香の煙りて寺年始

新町 若山 向山

除夜の鐘ついて本堂初明り

厚木市 川崎 保一

羽音して日射しの軒に初雀

中屋敷 小林たみい

薄墨に森の社の初明り

新町 井川 亘

新年の写真の顔を並べけり

野口 村越 幸

めんどりの鳴き始めた初明り

千手 長野 キミ

貼替し障子に清き初明り

小白倉 田中 優美

初春を祝いて困む屠蘇の膳

木落 丸山 詩朗

輝やける雪の霊峰初明り

大倉 中條 石平

抱く孫のアクビ貰ひて老の春

寺尾 白井すみい

年頭のことば交して初詣り

仙田小二年 高橋 隼

つつがなき心ひきしめ初詣

木落 田口 梅野

東の空紅に初明り

野口 五十嵐トラ

初参り幸せ願うこと多く

野口 野口 豊作

南天も花器に活けたる松の内

中島町 佐藤 左保

あけましておめでとうございます

「かわにし俳壇」は憩いの場とし、町民の文芸育成の一助として努めて参りましたが、次第に関心が高まり、投句者の増えたことを喜んでおります。四季の美しいふるさとの自然を愛し、俳句の心でなごやかな暮らしをしていきたいものです。

選者 近詠 太田 白南風

恵方とし拝す雪山あるばかり

初空の下雪山の神々し

雪山の高さにとんで初鶉

初刷の新聞の香の清々し